

授業科目	比較文化論					単位	2		
履 修	選択	関連資格				ナンバリング	TO11805J		
開講年次	1	開講時期	前期	該当DP	DP3-1 DP4-2				
担当教員	八尋 春海								
授業概要	世界の国々(主としてアメリカ)と日本の文化について毎回、1つのトピックに絞って比較をする。それぞれの文化にはそれぞれの長い歴史や置かれた環境の影響があるため、そのようなことについても学んでいく。授業の一部を遠隔で行う。								
学生が達成すべき行動目標	さまざまな国の文化を同時に学ぶことを通して、多文化が共生できる社会を構築するにはどのようなことが必要か、自分には何ができるのかを知る。								
達成度評価									
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考	
総合評価割合	0	70	0	0	30	0	100		
知識・理解 (DP1-1)									
知識・理解 (DP1-2)									
知識・理解 (DP1-3)									
知識・理解 (DP1-4)									
思考・判断 (DP2-1)									
思考・判断 (DP2-2)									
関心・意欲 (DP3-1)		50			15		65		
関心・意欲 (DP3-2)									
態度(DP4-1)									
態度(DP4-2)		20			15		35		
態度 (DP4-3)									
技能・表現 (DP5-1)									
技能・表現 (DP5-2)									
技能・表現 (DP5-3)									
具体的な達成の目安									
理想的レベル				標準的なレベル					
日本と他の国の文化の違いが生まれた背景を理解できる。				日本と他の国の文化の違いを知ることができる。					
授業計画									
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	
1	授業の概要の説明 「文化」の概要説明			講義		復習		60	

2	地理的視点での文化比較	講義	予習、復習	60
3	宗教と日常生活	講義	予習、復習	60
4	自家用車と公共交通	講義	予習、復習	60
5	祭り・イベント	講義	予習、復習	60
6	食文化	講義	予習、復習	60
7	コミュニケーション	講義	予習、復習	60
8	スポーツ	講義・小テスト	予習、復習	60
9	ビジネス社会における文化	講義	予習、復習	60
10	環境意識	講義	予習、復習	60
11	民度と治安	講義	予習、復習	60
12	芸術	講義	予習、復習	60
13	教育	講義	予習、復習	60
14	まとめ	講義・小テスト	予習、復習	60
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				

27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	学内外の国籍が異なる人々となるべく多く会話をする機会を設ける。			
テキスト	菊池有紀、『地図でよくわかる世界の国大百科』、JTB パブリッシング			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	サミュエル・ハンチントン、『文明の衝突』、集英社 ジャック・デリダ、『赦すこと』、未来社 エドワード・サイード、『オリエンタリズム』、平凡社			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	授業では国際的な視点での多文化共生を学ぶので、授業で学んだことを日常生活で生かしてください。まずは、身近に接する(特に自分とは異なる)人たちと共生することを意識してください。			
達成度評価に関するコメント	授業中には、受講生の発言を求める機会を多く設けます。多文化共生には「声をあげること」も重要な要素であり、積極的な参加を期待したい。			

